

令和7年度 津島福居自主防災会事業報告

1 全般

令和7年度は、「災害に強い町」「自らのいのちは自らで守る町」を目指して、① 防災意識の向上、②「タイムラインを想定した災害時活動要領」に基づく事業の実施、③「第1回津島ふれあい防災まつり」への参加を重点目標に掲げ、活動を推進した。

2 事業計画に基づく成果

(1) 第1回津島福居自主防災会防災セミナーの開催

災害時活動要領に基づき、住民の方々に防災対策に役立つ情報を提供する趣旨で、令和7年9月24日(水 10:00-12:00)に開催した。テーマは「在宅避難への備え」とし、講師の派遣には岡山市の防災専門家派遣制度を活用した。当日は、住民30名が参加。参加者全員に非常食(アルファ化米、クラッカー、保存水)を配布した。

(2) 第1回津島ふれあい防災まつり(津島学区連合町内会主催)への参加

令和7年11月15日(土 13:00~15:30)に開催された標記防災まつりに参加した。これは津島地区において実施される最初の防災まつりであり、12のプログラムが企画され、各町内が分担して実施した。福居はそのうちの「みんなでぼうさいPiPit!ダンス」「シェイクアウト訓練」及び「給水体験」を担当した。当日のプログラムの来場者は、天候にも恵まれ、延べ861人に上った。

(3) 地震を想定した情報伝達訓練の実施

令和7年6月15日(日)10時より、最大震度5弱の地震発生を想定し、要支援者への情報伝達及び安否確認訓練を実施した。情報伝達の手段としては、電話、メール及びLINEアプリを活用した。訓練には、37人の要支援者及び26人の避難支援者が参加した。

(4) 災害時安否確認用黄色布の配布

災害発生時に安否確認を能率化するための手段のひとつとして黄色布を全戸配布した。

(5) 「防災会だより 第2号」の発刊

令和7年5月1日付で第2号を発行した。「防災会だより」は、「災害対策の基本は住民の皆さんの一人ひとりの日頃からの備えであるとの考えから、関連する防災情報を中心に掲載」することになっている。津島福居町内会のHPで閲覧することができる。

(6) 避難行動要支援者個別避難計画の作成

岡山市から提供されている「避難行動要支援者名簿」掲載者に関し、同意が得られた方について「個別避難計画」を作成し、市に提出した。今後は、年1回提供される同名簿に基づき、掲載者の「個別避難計画」の更新等を継続して実施する。

(7) 防災会議の開催

防災会では、令和7年度計5回(5/17、7/19、9/20、11/29、3/14)の防災会議を開催し、事業実施計画の検討、防災会だよりの発行、情報伝達訓練の実施、津島ふれあい防災まつりへの参加等について協議した。

3 他組織との連携・協力

「地域との協働型防災訓練 (SDGs x 防災)」参加

岡山大学及び津島学区連合町内会の協働事業として令和8年2月3日(火)に実施された「避難所での健康と安全」に防災委員が参加した。

以上